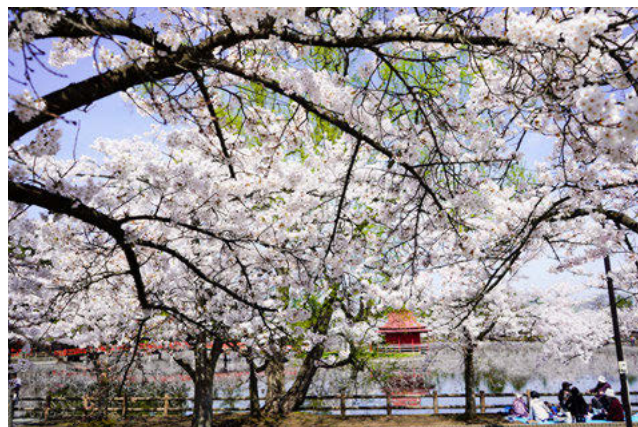




春らん漫の猿賀公園

平川さくらまつり開催

4月19日から5月6日まで、猿賀公園にて「平川さくらまつり」が開催されました。まつり期間中は、春ねぶた運行やフォトコンテストなどたくさんのイベントも行われ、中でも26日と27日に開催された「ぶらすマルシェ」では、個性豊かなクラフト店や飲食店が軒を連ね、家族連れなどでにぎわいました。



春の風物詩

盛美園の雪囲い撤去

4月8日、盛美園では、木々を寒さや積雪から守ってきた「雪囲い」を撤去する作業が行われました。造園業者の職人たちは、園内を見回りし状況を確認した後、木の支柱などを運び出していました。この冬は例年にない大雪のため、雪害により松の木が1本折れるなどしたものの、全体的には大きな被害もなく、今年も営業を開始しました。



世の安寧を祈って

猿賀神社崇敬会大祭

5月3日、猿賀神社崇敬会大祭が開かれ、悪疫退散を祈念する伝統の「鬼面奉射神事」が行われました。

山谷敬宮司が鬼の面が描かれた木札に矢を2本放ちました。木札は割れなかったため、最後は刀で一刀両断しました。併せて、平穏な日常を祈り、津軽神楽の演目の一つである「天王」が奉納されました。



新しい校舎で新学期が始まりました

金田小学校新校舎で授業を実施

4月から新学期がスタートし、金田小学校の生徒たちは新校舎で勉強に励んでいます。学校内には、吹き抜ける図書館や音楽室があり、教室の前に多目的ルームが設置されるなど広々とした校舎になりました。

6年い組の大谷風璃（おおたにふうり）さんは「学校がきれいになったので、今までと違う学校生活になった」と嬉しそうに話し、6年ろ組の神杏奈（じんあんな）さんは「新しい校舎で勉強するのが楽しい」と笑顔で話していました。



雪解けにより徐々に被害が明らかに

市長が被害園地を視察

4月2日、大雪による被害状況を把握するため、市内の園地を視察しました。

このうち、広船地区の外川清孝さんのりんご園では、太い枝が折れ、幹が割れるなどの被害が確認されました。市長は「想像以上に大きな被害だった。県とも連携しながら支援を実施し、りんご産業の将来につなげたい」と話しました。

親子で楽しみました

子どもフェスティバルが開催

5月5日、文化センターで子どもフェスティバルが開催されました。バルーンアート体験やスライム作り、ジャグリングショーなどの催しが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。また、警察・消防・自衛隊車両乗車体験も行われ、子どもたちは興味のある車に乗り、帽子や制服を着せてもらうなどの体験を楽しんでいました。



健康長寿のまちを目指して

ひらかわ健康ポイント事業当選賞品贈呈式を実施

3月28日、平川市健康ポイント事業の当選賞品贈呈式が行われ、出席した上位当選者1名に賞品（IH炊飯器）が贈呈されました。

出席者の清藤紀夫さん（猿賀）は、「当選して嬉しい。今後も健診など健康づくりを意識して取り組みたい」と話しました。